

第4 地域創生

第 4 地 域 創 生

地域創生部は、市町村と連携して過疎地域や特色ある地域づくりを支援し、地域創生に取り組んだ。また、「ぐんま暮らし」のブランド化による移住促進を図るとともに、芸術文化・スポーツによる活力ある地域づくりを推進するための各種施策を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、美術館・博物館が一時休館し、企画展等が延期になったほか、ぐんまマラソンが開催中止となった。その一方で、博物館等の動画配信や「ぐんまウェブマラソン2020」の開催など、オンラインを活用した新たな取り組みを工夫して実施した。また、コロナ禍を契機として、都市から地方への移住に関心が高まる中、オンラインでの移住相談や動画配信を行うなど「ぐんま暮らし」のブランド化へ向けた事業を積極的に推進した。

そのほか、多文化共生・共創推進条例の制定や、県立世界遺産センター（愛称：「世界を変える生糸（いと）の力」研究所（セカイト））のオープン等、地域課題解決、文化・スポーツによる地域づくり推進のための様々な事業を実施した。

1 地域創生費

(1) 総務調整費 決算額 7,160千円

部内予算の適正、効率的な執行を図るため、部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区 分	内 容	金 額
主管課運営費	部内共通経費等	1,031千円
部局調整費	県民会館空調用インバーター修繕等	6,129

(2) 文化スポーツ施設等特別維持整備費 決算額 34,700千円

地域創生部所管の県有施設で緊急に必要な補修工事等に機動的、弾力的に対応した。

修繕費	役務費	委託料	工事費	合 計
18,160千円	858千円	8,276千円	7,406千円	34,700千円

(3) 地域政策推進 決算額 8,211千円

① 地域づくりネットワーク推進

県内約180の地域づくり団体と県・市町村で構成する「群馬県地域づくり協議会」の運営を通じて、研修会の開催、優良団体の表彰、情報誌の発行等を行い、構成団体の活性化とネットワーク化を図った。

② 広域連携の推進

ア 北関東3県の連携推進

茨城県、栃木県と本県で構成する「北関東広域連携推進協議会」の運営を通じて、3県の連携によるオンライン交流イベントを行った。

イ 両毛広域都市圏総合整備推進

東毛地域と隣接する栃木県足利市、佐野市を含めた広域的な都市圏について、両県及び関係市町で構成する両毛広域都市圏総合整備推進協議会の運営を通じて、公共施設相互利用等による地域交流を推進し、圏域の一体感の醸成に努めた。

ウ 赤城山振興

県と赤城山周辺6市村で構成する「赤城山広域振興協議会」を中核として、地元関係者や関係自治体と連携を図りながら、赤城山ポータルサイトの運営や総合ガイドマップの作成のほか、エリアプロモーションビデオを活用した情報発信を行った。

③ 地域力向上

市町村、地域住民、地域づくり団体等が連携して取り組む地域づくり活動や、町内会、自治会活動の拠点である住民センター等の整備に対して支援を行った。

区 分	内 容
地域力向上事業補助 (3,000千円)	・住民センター等整備(1件)

④ 地方創生関係交付金

地方創生関係の交付金について、市町村の交付金申請を支援した。

区 分	実 績		
地方創生推進交付金(市町村分)	17市町村	35事業	185,682千円
地方創生拠点整備交付金(市町村分)	4	5	173,610

(4) 地域調整費

振興局等において地域の政策課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域調整費を活用し、地域の振興及び活性化を図った。

① 地域振興調整費 決算額 40,961千円

地域の振興及び活性化、地域の課題解決、将来に向けた芽出しのための事業に機動的、弾力的に対応したほか、県民が県政に参画するための各種事業を実施した。

・主な活用事例 ※振興局名の記載は、令和3年4月1日現在の名称

事業名	事業費	事業概要
幸せのベンチ設置による 高齢者支援 (中部振興局)	300千円 (補助金)	高齢者の外出促進と介護予防のため前橋市桂萱地区にベンチを設置し、利用奨励のスタンプラリーを実施した。
「温泉Biz」事業連携による伊香保温泉滞在型観光推進 (北群馬渋川振興局)	671 (補助金)	伊香保温泉におけるワーケーション推進のための連携事業を行った。
かんがい遺産カードによる地域振興と観光振興 (高崎・安中振興局)	299 (需用費)	多野藤岡・甘楽富岡振興局と連携し、高崎・藤岡・富岡管内の農業水利施設をカード化し、魅力創出を図るとともに、カード収集と特産物の購入を掛け合わせ、観光振興を図った。
「ネクスト 花と緑のぐんまづくり in 藤岡」開催に伴う会場整備 (多野藤岡振興局)	530 (補助金)	令和3年3月から開催の「ネクスト花と緑のぐんまづくり in 藤岡」会場である「ふじの咲く丘」等の飾花に用いる資材、花苗等を購入した。
かんな・かぶら∞ぐるぶらの旅周遊マップ作成、スタンプラリー2020 (甘楽富岡振興局)	1,138 (需用費等)	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や西毛地域の周辺観光施設等への周遊を促すため「周遊マップ」を作成するとともに、道の駅や観光施設を巡るスタンプラリーを実施した。
「#おうちでつまごい」キャンペーン (吾妻振興局)	306 (補助金)	新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ村内経済活性化のため、村民・県民向けのマイクロツーリズム推進や各事業者の通信販売実施斡旋などを行った。
サイクルイベントのデジタル化 (利根沼田振興局)	2,000 (補助金)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けない非参集型・分散型イベントにより集客を図るため、サイクリングアプリを活用したコース造成・設計等を行った。
おうら初、eスポーツ大会 (東部振興局)	50 (補助金)	子どもたちの独創性を培うきっかけをつくり、併せて郷土愛の醸成を図るため、eスポーツ大会開催の実証実験を行った。

事業名	事業費	事業概要
食都桐生のPRと地元店舗の活性化 (桐生みどり振興局)	300千円 (補助金)	特色ある飲食店の周遊を促進し地域活性化に繋げることを目的として、「炭水化物」を主要テーマにメニュー開発やお披露目イベント、パンフレット等の作成を行った。

② 地域公共事業調整費 決算額 257,747千円

複数の分野に関わる公共事業を実施し、地域課題の解決を図った。

・主な活用事例 ※振興局名の記載は、令和3年4月1日現在の名称

事業名	事業費	事業概要
前橋赤城線歩道等改良 (中部振興局)	1,474千円 (委託料)	観光振興を図るため、「あかぎ大沼・白樺マラソン」のゴールである赤城山頂の大洞駐車場入口の段の解消工事等を行った。
ウッドプランター整備 (北群馬渋川振興局)	3,971 (工事請負費)	観光振興を図るため、水沢街道沿いに設置してあるウッドプランターを更新した。
通学路安全対策 (高崎・安中振興局)	5,357 (工事請負費)	小中学生などの歩行者の安全性を改善するため、交通量増加が見込まれる路線の部分的に狭小な区間の路側を拡幅した。
桜山森林公園管理棟改修 (多野藤岡振興局)	3,014 (工事請負費)	利用者が立ち寄り易く安全・快適に使用できるよう、案内所機能を有する管理棟建物の外観を改修整備した。
木製歩道手摺柵改修 (甘楽富岡振興局)	6,000 (工事請負費)	観光客の安全性向上、及び観光振興を図るため、神津牧場に隣接する木製歩道の耐久性の高い材料への更新、及び周辺の防草工事を行った。
「パノラマライン南ルート」安全施設整備 (吾妻振興局)	9,966 (工事請負費)	「パノラマライン南ルート」について、不足している安全施設の整備と防災機能の強化を行った。
一級河川利根川かわまちづくり支援 (利根沼田振興局)	2,992 (委託料)	利根川におけるかわまちづくり区域である清流公園において、みなかみ町が整備を担当する部分のうち河川整備に関連する部分の設計を支援した。
舗装補修 (東部振興局)	11,000 (工事請負費)	通行車両の安全性向上のため、(国)354号の路面のわだち掘れが著しく、舗装状態の悪い区間の舗装補修を行った。
木製転落防止柵の更新 (桐生みどり振興局)	6,600 (工事請負費)	安全で良好な景観を形成するため、桐生川ダム・梅田湖に向かう観光路線の木製転落防止柵の更新工事を実施した。

(5) 過疎地域自立促進対策

決算額

4,741千円

① 次期過疎方針の策定等

過疎地域の自立に向けた取組を推進するため、県過疎地域自立促進方針に基づき、市町村が取り組む市町村過疎地域自立促進計画の変更を支援した。また、次期過疎方針策定のため過疎有識者会議を開催した。

② 過疎地域いきいき集落づくり支援

過疎集落の住民が主体となって実施する集落の維持・活性化への取組を支援した。

区 分	内 容
過疎地域いきいき集落づくり支援事業補助 (3,924千円)	・ホテルの里及び周辺地域整備を通じた地域住民の交流 ・俳句を活用した地域住民の交流 ・ドライブインシアターイベントの開催 ・「花」を用いた商品開発による産業創出 など計9件

(6) 山村振興対策

決算額

631千円

過疎・山村地域の振興及び活性化を図るため、県・市町村間で共通認識を醸成するとともに、各市町村における今後の施策や事業への反映を目的に、講演会を実施した。

開催期日	講演内容	参加人数
令和2年8月3日	「住民が創る新しい創生と共生の地域づくり」 ～人がつながる一流の過疎をめざして～ 講師：高橋由和氏（NPOきらりよしじまネットワーク事務局長）	市町村職員、 県職員ほか 合計40人

(7) 地域おこし協力隊活動・定住支援

決算額

1,660千円

市町村の制度導入や隊員の活動・定住を支援するため、「地域おこし協力隊導入支援セミナー」や「情報交換会」等を開催するほか、隊員が自ら必要なスキルを身につけるために行う研修活動の経費を負担する「アドバイザー派遣」を実施した。また、地域おこし協力隊ポータルサイト「ツナグンマ」により、隊員の募集情報や活動情報等を発信した。

・県内の地域おこし協力隊導入実績（令和3年3月31日時点）

区 分	実 績
導 入 市 町 村	20市町村（前橋市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、安中市、みどり市、上野村、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町）
隊 員 数	97人

・地域おこし協力隊活動・定住支援開催実績

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
地域おこし協力隊情報交換会	令和2年8月5日	群馬県市町村会館 大研修室	隊員43人、隊員OBOG 2人、市町村職員13 人、県職員13人、そ の他1人 計72人

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
地域おこし協力隊 スキルアップ 研 修 会	令和2年11月25日	県庁281-A会議室	隊員23人、隊員OBOG 2人、市町村職員5人、 県職員9人 計39人
地域おこし協力隊 導入支援セミナー	令和2年9月30日	県庁281-A会議室	隊員・OBOG12人、市 町村職員9人、県職 員7人 計28人
アドバイザー派遣	令和2年8月20日 ～令和3年3月22日 計8回	県庁官民共創ス ペースNETSUGEN、藤 岡市、安中市、み どり市、中之条町、 高山村、片品村、 吾妻行政県税事務所	隊員ほか延べ57人
オンライ ン メ ン タ ー	令和3年 2月15日(西毛)、 17日(北毛)、 19日(中東毛) 計3回	オンライン(Zoom)	隊員12人、隊員OBOG 3人、市町村職員2人、 県職員10人 計27人

(8) 土地利用対策

決算額

28,548千円

① 土地利用基本計画等の管理運営

県土の適切かつ合理的な利用を確保するために、国土利用計画法第9条の規定による「群馬県土地利用基本計画」に基づき、土地利用の総合調整等を行った。

令和2年度は、17件の「計画図」の変更を行った。

② 届出・勧告制度の運用

県内における一定規模以上の土地取引について、国土利用計画法第23条の規定に基づいて届出を受け、利用目的を審査し、適切な土地利用の推進を図った。

<届出処理状況> 令和2年(1月1日～12月31日までの集計)

区 分	受理件数	処 理 件 数				
		勧 告	助 言	不勧告	取下げ	計
届 出	598件		27件	571件		598件

③ 地価調査

国土利用計画法施行令第9条の規定に基づき、7月1日を基準日とする基準地の鑑定評価を公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会に委託して実施し、宅地367地点及び林地6地点の標準価格を公表し、適正な地価情報の提供に努めた。

④ 大規模土地開発事業対策

「群馬県大規模土地開発事業の規制等に関する条例」に基づき5ha以上の民間大規模土地開発事業に対して、必要な指導を行い、県土の保全と秩序ある開発に努めた。

(9) 水資源対策

決算額

8,371千円

① 水資源の総合調整

国が行う利根川・荒川水系水資源開発基本計画の見直し（改訂）を円滑に進めることができるよう、関係課との調整を行った。

② 水資源の確保対策

水資源を将来にわたり安定的に確保するため、水資源開発施設の利用調整に努めるとともに、施設の管理費を負担した。

③ 健全な水循環の促進対策

利根川上流の本県と下流の東京都とで行う利根川水系上下流交流事業では、東京都と共同して水の大切さ及びダム役割を啓発するとともに、水源地域の情報発信を行った。

(10) 発電施設周辺整備

決算額

194,123千円

発電施設周辺地域住民の福祉の向上等を図るため、電源立地地域対策交付金交付規則に基づき、対象市町村（15市町村）の公共施設運営・整備等に対し交付金を交付した。

区 分	事業数	交 付 金	内 容
道 路 関 連	11件	55,961千円	舗装維持修繕等
福 祉 関 連	7	128,035	保育所等運営
水 道 関 連	1	4,400	配水管布設替え
教 育 文 化	1	500	夜間照明配電盤補修
環 境 維 持	1	4,400	樹木伐採業務
計	21	193,296	

2 ぐんま暮らし・外国人活躍推進費

(1) ぐんま暮らしブランド化推進

決算額

53,235千円

平成27年4月に開設した「ぐんま暮らし支援センター」で専任相談員により移住・就職の相談に応じるとともに、市町村と連携したオンラインによる移住相談会やオンライン移住セミナーの開催、各種動画の制作を実施した。

また、移住コーディネーターのほか、移住の現場できめ細かな支援を行う人材を育成するため、「地域の顔育成研修」等の実施により、移住の促進に取り組んだ。

・移住相談及び移住実績

区 分	実 績
相 談 件 数	1,222件
移 住 者 数	44組 85人

(注) 相談件数は、ぐんま暮らし支援センター、移住相談会、県庁、ぐんま総合情報センター、群馬県東京事務所で受けた相談の合計数。移住者数は、移住相談を経て本県へ移住した人数（本人からの報告等で把握できたものに限る。）

・オンライン移住相談会開催実績

区 分	参加団体	延べ相談件数
オールぐんまオンライン移住相談会	31市町村、13企業、7県・関係団体	20件
新潟県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県 5県合同移住相談会	6市町村	2 (注：本県分)

区 分	参加団体	延べ相談件数
オールぐんまオンライン移住相談ウィーク	30市町村、12企業、 9県・関係団体	20

・オンライン移住セミナー開催実績

区 分	主な内容	実施回数	延べ参加者数
S M O U T オンライン 移 住 セ ミ ナ ー	古民家改修、農業、 林業、テレワーク、 教育	5回	48人
群 馬 と 関 わ る 時 間	子育て、車環境	2	54
カ タ テ マ グ ン マ T A L K I N G	地域おこし協力隊等	1	25
北関東三県連携セミナー	食・グルメ等	1	26

・動画制作実績

区 分	主 な 内 容	本数
移住者等インタビュー動画	全市町村における移住者等のインタビュー 動画	35本
移住者等密着動画	県内10市町村における冬の暮らし密着動画	10
オンラインセミナー 参加者紹介動画	セミナー参加者の紹介動画	9
そ の 他	県内テレワーク施設紹介動画、ぐんま暮らし 支援センター紹介動画	2

・地域の顔育成研修開催実績

区 分	会場	参加者数	主 な 内 容
オンラインセミナー 開催支援研修	オンライン	65人	セミナーデモ配信、セミ ナー用動画制作案内
中間支援の見える化研修	群馬県庁	32	講演、ワークショップ
オンラインによる自治体 P R ・ 相 談 対 応 研 修	オンライン	76	自治体 P R、相談対応方 法 ほか

(2) 群馬県移住支援金

決算額 4,800千円

東京一極集中の是正と地方の担い手不足解消のため、東京23区の在住者・在勤者が移住して就業・起業する場合に、引越等に係る費用を最大100万円支給する事業を市町村と連携して実施した。

・支給実績

市町村	件数	支 給 金 額	摘 要
前 橋 市	2件	1,600千円(うち県補助1,200千円)	単身、起業 世帯、起業
高 崎 市	1	1,000 (うち県補助 750)	世帯、起業

市町村	件数	支給金額	摘要
桐生市	1件	1,000千円(うち県補助 750千円)	世帯、起業
渋川市	1	600 (うち県補助 450)	単身、起業
嬭恋村	2	1,200 (うち県補助 900)	単身、起業
草津町	1	1,000 (うち県補助 750)	世帯、起業
計	8	6,400 (うち県補助4,800)	

(3)外国人活躍推進 決算額 2,200千円

労働力不足が深刻化し、外国人材獲得の国際競争が増す中、本県に外国人材を呼び込むため、企業による外国人受入れに対する支援のほか、県内外国人留学生やALT(外国人指導助手)が卒業・任期終了後も引き続き本県へ就職・定着するよう、合同企業説明会等を実施し、就労支援を行った。

区 分	実 績
グローバルキャリアフェア in GUNMA	参加者 57人 参加企業 14社
海外ヒューマンリソース発掘支援	参加企業 2社
地域外国人材受入れ・定着モデル事業	参加企業 14社
多言語による就労・生活情報発信	動 画 56本 (7種類×8言語)
外国人材受入れ相談会	参加企業 12社

(4)多文化共生支援 決算額 26,160千円

外国人県民は、地域経済及び地域の活力をともに創る「仲間」であるとの考えに基づいた「多文化共生・共創『群馬モデル』」及び「群馬県多文化共生推進指針」を踏まえ、市町村や関係機関と連携して課題に対応し、多文化共生・共創社会の実現による豊かな地域づくりに取り組んだ。

① 外国人が安心して暮らせるための幅広いサポートの提供

ア 医療通訳ボランティアの養成・派遣

外国人県民が医療機関等で受診する際に必要とする通訳(ボランティア)を養成し、協定医療機関等(28機関)からの要請により派遣した。

区 分	実 績
養成講座参加者(うち登録者)	28人(8人)
医療通訳ボランティア登録者	13言語 延べ135人
医療通訳ボランティアの派遣	167件

イ 災害時外国人支援

災害時に外国人県民に対して正確な情報提供を行うための「災害時通訳ボランティア」の養成及び外国人県民を対象とした「避難所想定訓練」を市町村(渋川市)と連携して実施した。

区 分	参加者数
災害時通訳ボランティア養成講座	通訳ボランティア 9人
外国人住民のための防災訓練	通訳ボランティア 14 外国人等 8

ウ ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営

生活者としての外国人県民が、生活全般に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、多言語で情報提供を行い、相談に応じる窓口を運営した。

また、センター内に半個室を設置し、法テラスの指定相談場所として指定を受け、無料法律相談体制の拡充を図った。

対 応 言 語	相談件数
英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語、スペイン語	1,768件

エ 地域日本語教育体制整備

群馬県における日本語教育に関する総合的な体制づくりを実施した。

区 分	実 績
総合調整会議	開 催 数 3回
日本語教育ボランティア養成講座	開 催 地 2か所 (前橋市・桐生市)
外国人日本語教育ボランティア養成講座	開 催 地 1か所 (伊勢崎市)
日本語教育実施機関団体等への補助	補 助 団 体 数 3団体(県補助442千円) (前橋市・伊勢崎市国際交流協会・大泉町)

② 多様性を活かし、外国人が活躍できる環境づくり

ア 群馬県多文化共生・共創推進条例の制定

日本人・外国人県民が手を携え、多文化共生・共創社会の実現を目指すため、群馬県多文化共生・共創推進条例を制定した。

イ 多文化共生推進協議会への参画・連携

外国人住民が多い7県1市（群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市）で構成する「多文化共生推進協議会」に参画し、関係省庁への政策提言を実施した。

③ 多様性を尊重し、日本人と外国人がともに支え合うための意識の醸成

ア 多文化共生推進士の活用「外国人活躍推進キャラバン」

群馬大学が養成し県が認定した「多文化共生推進士」と連携し、地域課題の掘り起こしを行うとともに、課題解決に向けた体制づくりを進めた。併せて、多文化共生に係る県民の意識啓発のためのシンポジウムをオンラインで開催した。

テ ー マ	参加者数
「外国人が活躍できる地域社会を創る」	49人

イ 多文化共生・共創啓発

多文化共生・共創について、広く県民に興味を持ってもらうため、イラストメインの啓発資料を作成し、ぐんま外国人総合相談ワンストップセンターSNSで発信した。

3 文化振興費

(1)文化づくり推進

決算額 76,137千円

- ① 群馬県文化振興基金を活用し、文化振興指針の重点施策を推進するとともに、伝統文化を継承する取組等、個性豊かな地域づくりにつながる県民の自主的・主体的な文化活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
文化づくり支援	・「群馬の文化」の形成につながる、地域での多様で創造性豊かな文化活動（7件）に対して支援	千円 2,015
伝統文化継承	・各地域に伝わる伝統芸能や祭り、行事等を継承する活動（22件）を支援 ・継承のための講習会等の開催や活動団体間の連携推進を図るデータベースを整備	4,522

- ② 群馬県の文化的風土の象徴である「上毛かるた」を活用し、県民の郷土愛や群馬の歴史や文化に対する誇りを育むため、上毛かるた及び関連書籍の発行・販売を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
上毛かるた活用	・上毛かるた発行 10,000部 ・ガイドマップ『上毛かるた』ゆかりの地文化めぐり改訂版発行 6,000部	千円 10,448

- ③ 群馬県の特色ある文化を磨き上げ、魅力を発信し、交流人口の増加につなげるとともに、郷土に対する県民の愛着及び誇りの醸成を図るための事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
戦略的文化芸術創造	・世界遺産劇場（2公演） 富岡製糸場を舞台にトップアーティストによる特別公演を開催（参加者数827人） ・群響スペシャルコンサート（2公演） 県内文化ホールを会場に、群馬交響楽団の魅力を引き出すコンサートを実施（参加者数626人） ・おうちで群響～あなたもアーティスト！～ 新型コロナウイルス感染拡大により、音楽に触れる機会が減少する中、子どもたちに音楽を楽しんでもらうため、YouTubeにおいて視聴者が参加可能な映像を配信（再生回数14,143回）※令和3年3月31日時点	千円 44,205

（2）東国文化周知

決算額

57,208千円

「東国文化＝群馬」を全国に発信・定着させ、観光・地域振興や本県のイメージアップを図るため、周知事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
埴輪、古墳の価値や魅力の発信	・本県の歴史文化遺産の価値を再認識するとともに、イメージアップを図るため、埴輪や古墳などの魅力を紹介する動画を公開（動画本数9本）	千円 255
東国文化副読本の活用	・「東国文化副読本」を中学1年生全員に配布するとともに、自由研究の募集等により学校現場や家庭における副読本の活用を推進	2,882

区 分	事 業 内 容	事業費
群馬県立歴史博物館 イノベーション文化 観光拠点計画	・文化観光推進法に基づき、令和2年8月に 国が計画認定 ・計画に基づき、県立歴史博物館を拠点に、 埴輪を世界に通用する文化観光コンテンツ として活用し、VRなどのデジタル技術を 活用した展示の充実などを実施	千円 52,074
「世界の記憶」 上野三碑周知	・平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に 登録された上野三碑の価値や魅力を県内外 に発信するため、上野三碑普及推進会議を 通じて、普及啓発事業を実施	1,000

- (3)文化施設整備推進 決算額 27,791千円
経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった文化振興課所管の施設・機器等について、優先度に応じて計画的に修繕を行った。

- (4)県立文化施設管理 決算額 178,789千円
文化振興課所管の一部県立文化施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう指定管理者に委託して施設管理を行った。

区 分	指定管理者	事業費用協定額	利用件数	利用者数
群馬県民会館 (ベシア文化ホール)	群馬県民会館 管理共同事業体	千円/年 156,967	件 668	人 34,284
群馬県立自然史 博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)	富 岡 市	21,259	70	10,647

- (5)文化団体等育成 決算額 10,356千円
① 優れた文化芸術活動を行うアマチュア文化団体を学校等へ派遣し、子ども向けの講演やワークショップ等を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
は じ め て の 文 化 体 験	派遣団体：ぐんまブルーシニアアートクラブ等5団体 派遣先：沢田幼稚園等7か所	千円 155

- ② 教育・芸術文化団体を支援することで、県民の豊かな情操と教養の醸成及び文化団体の育成と地域に根ざした自主的な文化活動の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
芸 術 文 化 関 係 団 体 助 成	県民が様々な芸術文化活動に触れる機会を提供するため、芸術文化団体を支援	千円 10,201

- (6)芸術文化事業推進 決算額 296,438千円
① (公財)群馬交響楽団を支援することにより、県民が本物の芸術文化に触れる機会や子どもたちが生のオーケストラ演奏に触れる機会を提供し、本県文化の向上と普及・振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者等
群馬交響楽団 支 援	定期・巡回・特別演奏会、音楽教室、 楽器セミナー等を実施している群馬交 響楽団の運営費等の経費の一部を支援	千円 256,935	人 46,556
音楽の力で世界 を「つなぐ」 群響演奏会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響 で中止となったベトナム公演の代替事 業として12月5日にベトナム国立交響 楽団との共同演奏会を実施。当日はベ トナム出身者や医療従事者を招待し、 ベトナムとテレビ中継を繋いでオーケ ストラ演奏を通じた交流を行った。	20,264	320

- ② アートの力で群馬県を元気にし、県民が誇りと幸福感を感じられる群馬の創造のため、「アートによる地域創造会議」を設置し、群馬ならではの芸術活動「アーティスティックGUNMA」の推進方策を検討するとともに、アーティスト支援のための事業を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
アーティスティ ックGUNMA推進	外部有識者による「アートによる地域創造会議」 を設置し、アーティスティックGUNMAの推進策を 検討し、アーティスト支援の一環として若手アー ティストを対象としたオークションを開催した。	千円 5,132

(7) 教育文化事業団運営

決算額 89,570千円

群馬県の文化の発展や明るく潤いと活力に満ちた県民生活の実現を図るため、(公財)群馬県教育文化事業団の運営に要する経費を助成するとともに、県民芸術祭を委託して実施した。

・令和2年度実績

第44回県民芸術祭等を実施することにより、県民の芸術文化活動への参加意欲や郷土を愛する県民意識の高揚を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者数
県 文 学 賞	短歌、俳句、詩、小説、評論、随筆、 児童文学の7部門を選奨	千円 1,729	人 45
県 展	書道展をWeb上で開催(美術展、写 真展、華道展、大茶会は中止)	1,017	—
山崎種二記念 特 別 賞	県展出品作品から山崎種二記念特別賞 (書道部門1点)を授与	316	—
県民音楽のひろば	県内の各文化施設(5会場)で群馬交響 楽団による演奏会を開催 (2会場は新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により中止)	15,820	1,968
群 響 企 画 コ ン サ ー ト	森とオーケストラ(群馬の森)を予定 し準備を進めていたが、新型コロナウ イルス感染症拡大の影響により中止	5	—

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者数
ぐんま新人演奏会	公開オーディション合格者による演奏会を予定し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	121	—
グリーンコンサート	新人演奏会出演者によるクラシック音楽に気軽に触れられる演奏会を開催 (2回中1回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)	249	88
小中学校 伝統芸能教室	津久田人形芝居教室を開催 人形芝居4座と日本舞踊の教室は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	138	69
伝統歌舞伎の祭典	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、舞台公演は中止し、歌舞伎鑑賞初心者向けの動画を作成し、tsulunosから配信	765	—
子どもワークショップ 「はじめての文化・ 芸術ふれあい教室」 vol.3	子どもたちを対象に美術（工芸）、写真、フラダンス、歌舞伎、詩吟・剣舞の楽しさを体験し、鑑賞する機会を提供	791	39
メディア芸術推進	マンガ・アニメフェスタ（優れた作品の公募・顕彰・展示とイベント（今年度はWebで公開））を開催	3,035	—
群馬県文化協会連合会 地域文化フェスティバル	群馬県文化協会連合会10地域圏のうち、多野藤岡地域圏で地域文化フェスティバル展示部門を開催（利根沼田は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）	130	252
参加団体 会場費運営	県民芸術祭参加・協賛事業の一部会場費を補助	92	—
県民芸術祭 企画運営	運営委員会開催、広報実施及び報告書を作成	630	—
計		24,838	2,461

(8) 県立美術館・博物館運営

決算額 842,872千円

県立美術館・博物館において、県民に優れた芸術・文化等の鑑賞の機会を提供するため、各種企画展を開催するとともに、ワークショップや体験学習等の教育普及事業を一層充実させるなど、魅力ある美術館・博物館の運営に取り組んだ。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
近代美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 17,061人 ・教育普及事業参加者 3,922人 ・企画展「catch the eyes—目から心へ—」ほか全3回開催 ・こどもアートツアー等を実施 ・「こども+おとな+夏の美術館」「美術館アートまつり」等を開催 	千円 175,752
館林美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 35,392人 ・教育普及事業参加者 2,409人 ・企画展「10のテーマでアートをつなぐ」ほか全4回開催 ・学校との連携事業（職場体験、学校訪問、美術館見学）を実施 ・「館林邑楽地区小学生木版画展」「みんなのアトリエ」等の開催 	164,555
歴史博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 39,574人 ・教育普及事業参加者 20,305人 ・企画展「綿貫観音山古墳のすべて」ほか全2回開催 ・学校団体向け学習プログラム、ワークショップ等を実施 	174,504
自然史博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 84,797人 ・教育普及事業参加者 22,992人 ・企画展「空にいどんだ勇者たち」ほか全2回開催 ・サイエンスサタデー（体験学習）を開催 ・学校との連携事業（館内授業、職場体験）を実施 	268,872
土屋文明記念 文学館	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 5,188人 ・教育普及事業参加者 16,647人 ・企画展「文学と、草木染と—山崎斌のこころざし」ほか全3回開催 ・群馬県児童生徒短歌展を開催 ・講演会、講座等を開催 	59,189

(9)世界遺産継承推進

決算額

204,537千円

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産をはじめとする絹遺産の価値を多くの人に伝えることで、地域全体の遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくり推進につながるよう、各種事業を実施した。

なお、世界遺産の4つの構成遺産への来訪者数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度と比べ大きく減少し、約20万人となった。

区 分	事 業 内 容
継 承 推 進	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産専門委員会開催 ・世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金 企業等からの寄附金を積立て、世界遺産・ぐんま絹遺産の継承に活用（令和2年度積立額 2,919千円）

区 分	事 業 内 容
構成資産の 保存活用	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存事業費補助 (4市町 189,585千円 うち元年度から2年度への繰越分 126,520千円) 4市町が行う世界遺産構成資産の保存修理に対し補助
ぐんま絹遺産 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> アプリ活用推進 県内の絹遺産やその周辺の観光スポット情報を発信・周遊につながるスマートフォン向けアプリ「きぬめぐり」を活用し、日本遺産スタンプラリーを実施(参加者数:722人) ぐんま絹遺産登録(令和2年度 3件 累計 105件) ぐんま絹遺産保存活用推進(5市町村・2団体 3,952千円) 市町村及び民間団体が行うぐんま絹遺産の普及啓発や保存修理に係る事業に対して補助 シルクカントリー群馬プロジェクト 世界遺産等の調査研究に携わる人材の育成を目的とした研究助成事業「絹ラボ」を関係市町や民間企業とともに立ち上げ、世界遺産や絹産業・絹文化などをテーマにした調査研究に対して、研究助成金を交付(助成件数:14件) 日本遺産推進 県SNS「ぐんま応援びと」において、「絹の国ぐんま」をテーマにしたフォトコンテストを実施(応募件数:173件(作品数としては写真507点、動画6点))
普及広報	<ul style="list-style-type: none"> 広報資料等作成(パンフレット等) 「絹の記憶」調査研究事業 県内で絹産業に従事していた方の体験談を聞き取り、インタビューの内容を映像資料としてアーカイブ化(制作本数9本) 渋沢栄一と世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」ホームページ制作 渋沢栄一と富岡製糸場や田島弥平旧宅のある境島村地区とのつながりなどについて紹介するホームページを制作した。

(10) 世界遺産センター運営

決算額

29,023千円

世界遺産の価値や魅力を分かりやすく紹介する拠点である、県立世界遺産センター(セカイト)を令和2年6月1日に開館し、大学や民間と連携して、世界遺産や絹産業、絹文化等の研究に取り組むとともに、総合的に情報を発信した。

- 令和2年度観覧者数 17,145人

事 業 内 容	事 業 費
<ul style="list-style-type: none"> 教育普及事業参加者(館外・学校キャラバン) 29校 825人 セカイトアーカイブ事業(資料収集・デジタル化)の開始 講演会、研究会(4回)、研究紀要の発刊等 パネル展示『渋沢栄一と「富岡製糸場と絹産業遺産群」』ほか全4回開催 	<p>千円</p> <p>29,023</p>

事業内容	事業費
・アプリ「きぬめぐり」による世界遺産スタンプラリー2回実施 参加者382人	千円 (29,023)

4 文化財保護費

(1) 文化財保存管理 決算額 41,233千円

文化財の保護と活用を図るため、指定文化財の保存修理や埋蔵文化財の発掘調査に対する事業費補助、パトロールや食害対策調査を実施して保存管理を進めた。

区分	事業内容	事業費
文化財保存事業費補助	・県指定文化財 21件 ・埋蔵文化財発掘調査等 7件 ・防災設備保守点検等 7件	34,077千円
文化財パトロール	文化財保護指導委員31人（文化財の傷み具合や管理状況に係る報告：298件）	1,976
高山蝶パトロール	・ミヤマシロチョウほか：嬭恋村 10人	42
カモシカ食害対策調査	・通常調査（関東山地カモシカ保護地域：上野村） ・特別調査（越後・日光・三国山系：沼田市ほか3市町村） ・嬭恋村におけるカモシカ等の食害調査・普及啓発	4,958
県指定文化財（建造物）管理	・県指定文化財（建造物）の保存・管理・活用状況の実態調査（32件）	180
計		41,233

(2) 緊急文化財保護対策 決算額 6,471千円

公共開発事業等が予定されている埋蔵文化財包蔵地について、事前に保護策策定のための試掘調査等を実施するとともに、県内の文化財情報を整備した。

区分	事業内容	事業費
公共開発関連埋蔵文化財緊急調査	公共開発事業等の事業地において埋蔵文化財の試掘調査等を実施（41件）	6,001千円
統合型GIS更新	県の統合型GISシステム（マッピングぐんま）において、遺跡等の情報を公開し、随時最新情報に更新	470
計		6,471

(3) 埋蔵文化財調査センター運営 決算額 42,796千円

埋蔵文化財調査センターの適正な管理運営を実施するとともに、埋蔵文化財についての理解を深めるための普及事業を実施した。

区分	事業内容	事業費
埋蔵文化財調査センター管理運営	施設の維持管理	14,391千円

区 分	事 業 内 容	事 業 費
埋蔵文化財調査センター展示普及	発掘による出土品、考古資料等の管理及び活用、各種普及啓発事業の実施及び普及啓発嘱託員の設置	25,015 千円
金井遺跡群出土品調査整理	金井東裏遺跡・金井下新田遺跡出土品の調査整理	3,390
計		42,796

(4) 偲ぶ毛の国群馬の魅力発掘・発信 決算額 79,781千円

全国に誇る県内の国指定文化財の整備保存を補助し、支援、指導を行って文化財の価値を高めた。また、観音山古墳や上野国分寺跡の見学、活用を図るとともに、古墳・金井東裏遺跡調査の活用、上野国分寺跡整備事業等を実施して新しい魅力の掘り起こしを図り、広く県内外に情報発信を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
文化財保存事業費特別枠	・群馬の歴史や文化の特質を表す国指定文化財の保存整備事業を市町村等が実施するに当たり、26件の事業費の補助を行った。	千円 50,487
観音山古墳保護管理運営	・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・駐車場賃借 ・解説員3人で見学者への説明に対応した。	4,329
上野国分寺跡保護管理運営	・史跡地内除草等の維持管理業務委託 ・見学者のためのガイダンス施設運営。解説員3人で入館者への説明に対応した。 ・社会科見学や総合学習等での学校の利用を促進するため、史跡上野国分寺跡・史跡観音山古墳の見学案内チラシを作成し、学校及び学校教育関係会議で配布した。	8,245
上野国分寺跡整備	・平成30年度、令和元年度に実施した追加発掘調査の報告書を刊行。	627
古墳・金井東裏遺跡情報発信	・古墳現地の見学に活用できるスマホ用アプリ「ぐんま古墳探訪」による情報発信と保守管理。 ・平成29年度に増刷した『群馬県古墳総覧』、『ぐんま古墳探訪』の両冊子について一般販売を行った。	275
ぐんまの寺社魅力発掘・発信	・県内の装飾寺社建築と伝統芸能等について、令和元年度からの継続となる総合調査（約380件）と、スマホ用アプリ「ぐんま寺社巡り」の保守管理。	15,818
計		79,781

5 スポーツ振興費

(1) スポーツ団体運営費助成 決算額 93,814千円

本県のスポーツ振興のための各種事業活動が円滑に行われるよう、スポーツ振興施策を県と一体となって推進している(公財)群馬県スポーツ協会の運営に係る人件費を補助し、体制の整備を行った。

(2)生涯スポーツ振興 決算額 13,297千円

県民が身近な場所で継続的にスポーツに親しむことができるよう、市町村と連携して、スポーツ団体の活動の支援や地域における生涯スポーツを推進するとともに、地道な活動により地域のスポーツ振興に功績のあった個人や団体を表彰した。

また、本県が有する優れた自然環境を活かした県境稜線トレイルの活用を促進するとともに、危険箇所の点検や草刈りなどを実施し、安全対策の充実を図った。

(3)スポーツイベント等の開催・支援 決算額 82,927千円

① ぐんまマラソン

例年、フルマラソンなど3種目に約1万5千人のランナーが参加する大会であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止した。代替事業として、ランナーの健康増進及びぐんまマラソンに対する関心を継続してもらうことを目的に、オンライン方式による「ぐんまウェブマラソン2020」を開催した。

ぐんまウェブマラソン2020の種目	開催年月日	申込人数
チャレンジ100 (100km)	令和2年11月 3日	756人
チャレンジフル (42.195km)	～	1,977
チャレンジ10 (10km)	令和2年11月16日	1,231
合 計		3,964

② 群馬県民スポーツ大会

広く県民の間にスポーツを普及振興するとともに、健康の保持増進、体力の向上及び生活の活性化を図るため、例年県民スポーツ大会を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、すべて(夏季・秋季・駅伝・冬季)中止となった。

③ オリンピック・パラリンピック等推進

県内15市町村と連携し、令和3年3月30日(火)及び31日(水)に本県の東京2020オリンピック聖火リレーを実施した。

本県では173人(うち44人は県実行委員会推薦)のランナーが走行し、各日の最終地で行うセレブレーションについては、30日(火)は前橋公園、31日(水)はGメッセ群馬で行った。

[聖火リレールート]

3月30日：館林市～大泉町～太田市～上野村～桐生市～伊勢崎市～前橋市

3月31日：渋川市～草津町～沼田市～川場村～長野原町～藤岡市～富岡市～高崎市

(4)全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝) 決算額 7,072千円

新春の一大スポーツイベントであるニューイヤー駅伝を、主催者の日本実業団陸上競技連合、大会主管の群馬陸上競技協会等の関係機関と連携して実施した。

また、県庁tsulunostスタジオの活用(メインスタジオ)や、スマートフォンアプリ「TBSマルチアングル」視聴者プレゼントの実施により、本県のPRを行い、イメージアップを推進した。

(5)プロスポーツ支援 決算額 838千円

県内の小・中学校等に、プロスポーツチームに所属する選手・コーチ等を講師として派遣し、実技指導や自身の体験・思い等を伝える事業を県内に拠点を置くプロスポ

ーツチームに委託して実施した。

委託先チーム	参加者数（実施回数）
ザスパクサツ群馬（サッカー）	中 止
群馬ダイヤモンドペガサス（野球）	176人（5回）
群馬クレインサンダーズ（バスケットボール）	中 止

（6）競技力向上

決算額 96,470千円

- ① 本県のスポーツ振興の基本計画である「群馬県スポーツ推進計画」に基づき、競技力の向上を図るために、（公財）群馬県スポーツ協会が実施する競技力向上対策事業に対し補助を行い、国民体育大会やその他全国大会、国際大会において活躍できる競技者の育成を推進した。

第75回国民体育大会では、冬季大会終了時点において、男女総合成績で第6位であったが、鹿児島県で予定されていた本大会（夏・秋季大会）は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期となった。

- ② スポーツの振興と郷土意識の高揚に資することを目的として、顕著な成績を残した競技者に対し、群馬県スポーツ賞を贈った。
- ③ トップアスリートを雇用したい企業と、県内企業に就職したいアスリートのマッチングを図り、競技力の向上と指導者層の確保を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	備 考
競技力向上 対 策	競技団体対策 41競技 高体連対策 31 中体連対策 17 関東ブロック突破等対策 ジュニア育成 5事業 指導者養成資質向上 強化指定事業 4 スポーツ医科学活用 ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ	96,065千円	令和2年度は国民体育大会本大会が延期となったため、総合成績なし
群馬県スポーツ 顕彰等 推 進	スポーツ賞顕彰	343千円	令和2年度受賞者数 優秀選手賞 57
トップアス リート就職 支援	アスリート・ジョブサポート ぐんまの設置 登録企業数 2	62千円	

（7）国体等参加推進

決算額 3,742千円

- ① 国民体育大会への派遣

本県の代表として国民体育大会やその予選となる関東ブロック大会に参加した監督、選手に対して派遣費を補助し、本県代表選手の活躍を支援した。

区 分	事 業 内 容	派遣人数
関東ブロック大会	第75回国体関東ブロック大会 ※アイスホッケー以外は中止。 神奈川県 令和2年12月11日～12月20日	46人
国民体育大会	第75回本大会 鹿児島県 延期（令和5年の特別国体とする）	—
	第76回冬季大会 岐阜県（スケート） 令和3年1月27日～1月31日 ※群馬県選手団は派遣せず。 秋田県（スキー） 中止	—

② 第83回国民スポーツ大会開催準備

本県での国民スポーツ大会開催に向け、市町村や競技団体と会場地市町村の選定のため調整を行った。

また、「第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会」において総務企画専門委員会を開催し、会場地市町村の選定や業務分担・経費負担細目等について審議した。

(8) 大会基金積立

決算額 500,000千円

第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会の財源に充てるため、新たな基金を創設し、積立てを行った（令和2年度末基金現在高 500,000千円）。

(9) スポーツ施設の管理・整備

決算額 645,438千円

① スポーツ振興課所管の次の施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう、指定管理者に委託して管理運営を行った。

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ALSOKぐんま総合スポーツセンター	(公財)群馬県スポーツ協会	千円 244,467	人 165,416	千円 28,166 (利用料金)
総合スポーツセンター 伊香保リンク	(公財)群馬県スポーツ協会	147,792	24,760	11,077
ライフル射撃場	群馬県ライフル射撃協会	2,850	750	357

② スポーツ振興課所管施設において、経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった施設・設備等について、その優先度に応じて計画的に修繕等を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
工 事 費	ALSOKぐんまアリーナ空調設備等更新工事 ほか	140,624千円
備 品 費	伊香保リンク氷面削整機（整氷車） ほか	25,036
計		165,660

- ③ 市町村等を対象に、市町村有競技別拠点スポーツ施設を競技規則や施設基準に適合させるための整備に対する補助金を交付した。

区 分	事業内容	補助金額
市町村有競技別拠点スポーツ 施設整備事業費補助金 (補助率1/2)	前橋市総合運動公園野球場整備	67,892千円
	桐生市民体育館整備	4,272
計		72,164